

第1 基本方針

球磨地域の水田地帯では、水稻、野菜、タバコ、畜産などが営農されている。畑地では露地野菜、茶、落葉果樹などが導入され、生産性の高い大規模経営及び所得向上のための安定的複合経営の確立が求められている。

一方で、担い手の減少と高齢化に対応した省力化技術の開発や、新しい米・麦政策に対応した水田利用の再構築、環境保全型農業に関する技術開発など、新たなニーズや問題に対応する必要がある。

また、消費動向の変化に伴う業務加工用農産物や薬用作物の増加が当地域にも波及している。

このため、普及・行政・農業団体などの関係機関と密接な連携・協調を図りながら、球磨地域が直面する技術的課題を迅速・的確にとらえ、球磨地域特有の気象条件などに適応した茶、落葉果樹の優良品種選定と、その特性に合った高品質安定多収生産のための栽培技術の開発を行う。さらに、各専門研究所と連携し、省力・低コスト生産技術の検討を行うとともに、新技術の普及・実用化のための応用組立実証を中心に試験研究を進める。

第2 重要研究事項

1 球磨地域に適した茶・落葉果樹の優良品種選定

国、県などで新たに育成された品種系統の中から、品質・栽培特性の両面で球磨地域に適する茶、落葉果樹（早生モモ）の品種を選定し、栽培のための基礎的なデータを収集する。

2 落葉果樹産地の活性化につなげる高品質安定生産技術（果樹部門）

県内の最大産地であるクリについては、優良品種である「美玖里」は、他品種に比べ樹勢が強く、特に若木期の枝の伸長が大きく、徒長する傾向にあり、枝の発生数が少ないため低樹高への仕立てが難しく、高樹高になりやすい。そこで、低樹高栽培が可能となる中庸な枝を発生させ、枝梢の発生本数を増やすことで幼木期から若木期の収量増加につなげる栽培管理技術を確立する。

県内の主要産地であるモモについては、優良品種である「さくひめ」のトンネルハウス栽培での特性を把握し、高品質・安定生産技術確立を確立する。

3 球磨地域における茶の水色改善のための栽培技術確立（茶部門）

近年、市場における茶の評価は、外観の色沢と内質の水色が重視されており、球磨地域で生産される茶の市場評価の向上させるためには、色沢と水色の向上が必要である。

このため、高遮光率（85%程度）の被覆資材による品質向上効果の解明及び水色を向上させるため、苦土資材の効果的な施用技術を確立を行う。

第3 試験研究課題一覧

【球磨農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
茶・果樹	1. くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定	(1) 球磨地域に適した茶・落葉果樹の優良品種選定	1,286	県単	① 球磨地域の機械化管理体系に対応した茶優良品種の選定 ② 球磨地域の施設栽培に適した早生モモ優良品種の選定	S53～継続 S58～継続
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 落葉果樹産地の活性化につながる高品質安定生産技術	1,265	県単	① 「美玖里」の幼木期の枝梢管理技術の確立 ② モモ「さくひめ」のトンネルハウス栽培における生育特性の把握	H29～H32 H30～H32
		新規 (2) 球磨地域における茶の水色改善のための栽培技術確立	823	県単	① 荒茶の高品質化に寄与する高遮光率被覆資材の適正利用技術の開発 ② 被覆条件下における苦土資材の効果的施用法の確立	H31～H33 H31～H33

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

組替：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題